

新宮山彦ぐるーぷ第2036回

## 持経宿・平治宿の巡回整備

### 各お堂のお盆対応と平治小屋床濡れ対処

◇実施日；2019年8月9（金） 晴

◇参加者：沖崎吉信、川島功、児嶋道夫、橋本梓、生熊敏男・千満子、畑林清子、山川治雄、樋口義也、奥村順夫、高階美根子、梶野照雄

（12名）

#### 作業項目

#### 持経宿

- ◎小屋上にかかる「垂れ枝」の伐採・撤去
- ◎不動堂の清掃と盆菓子のお供え
- ◎小屋内外の清掃と整備

#### 千年檜祠

- ◎盆菓子お供え、櫛取り替えと清掃

#### 平治宿

- ◎グレーチング板2枚を水場に運搬
- ◎水場の点検・整備
- ◎小屋前の道標（行政設置）位置変更
- ◎全ての毛布と枕の天日干し
- ◎煙抜きと屋根の接点にコーキング処理

◎小屋裏の排水整備

◎床の乾燥処置（プロアーと雑巾がけ）

◎監視カメラの設置



作業予定の説明



持経宿に到着



張り出した枝を切除

7月28日、持経・平治宿の防虫対策に出向いた折、平治宿班から床の水濡れが報告された。当初は深刻に思っていなかったが、7月29日に村吉、7月31日に梶野のお二人から、相当ひどいとの報告がもたらされたため、急遽、床の乾燥を行うこととなった。

当日は午前8時半にスポーツ公園駐車場に集合。沖崎、梶野、山川の3台で持経宿に向かった。持経宿到着後、山川さんは新調の高枝切り（5m）で小屋屋根に被さっている枝を切除してくださる。その後、川島、沖崎がグレーチ

ング板を背に、全員で平治宿へ向かう。



グレーチング板を運ぶ



平治宿に到着



床の乾燥

平治宿に到着して小屋内を覗くと、やはり床が濡れている。特に南側の濡れ方がひどい。発見後でも13日目であるが、湿気や雨漏りのレベルとは違うと感じられた。毛布に影響はなかったが、全員で小屋内の物を外に出し、雑巾がけやブロアー2台で乾燥に努めた。しかし、水分を含んだ床木材の乾燥は遅くて、完全に乾燥とまではいかなかった。もう少し日にちが必要だ。

梶野君から、消火器事件の犯人が今度は水を撒いた可能性が高い、との話があり、行仙宿同様に監視カメラを設置した。

床の乾燥以外に、各々が水槽の点検や前記の作業をこなしてくれた。同じ人物の仕業だとすると、この一人のために我々は振り回されている。何か有効な一手は無いかと考える毎日だ。



道標の位置を変更



煙抜き隙間にコーキング



本日の参加者

この報告書は川島さんの葬儀の後に書いている。この持経・平治宿での作業が実質最後となった。

これを書きながらも、この日の彼の顔や動いている様子が何度も思い浮かぶ。

山彦は活動を止めることはできない。今回のことも教訓にして歩んでいこうではないか。それが川島さんへの最善の供養だと思う。皆さん、今後もよろしくお願いします。

(記：沖崎)

### 行動タイム

08:30 スポーツ公園駐車場→09:25 持経宿 09:40→10:50 平治宿  
13:08→14:00 持経宿 14:20→15:10 スポーツ公園駐車場